

## 【全体概要】

甘みが強く、酸味の少ないナシ新品種「瑞月」(系統名:愛知梨3号)の現地適応性を確認し、あわせて栽培技術  
を確立する。栽培マニュアルと収穫用カラーチャートを作成し、産地への導入を推進する。

## 新品種等の概要

「瑞月」(系統名:愛知梨3号)

農研機構開発品種「なつしずく」×本県開発品種「飲月」

開発者:農研機構及び愛知県農業総合試験場

経緯:平成17年育成開始

平成30年2月育成完了

令和元年10月品種登録出願公表

品種特性:8月中旬に生育期を迎える

中生種。甘みが強く、酸味が少

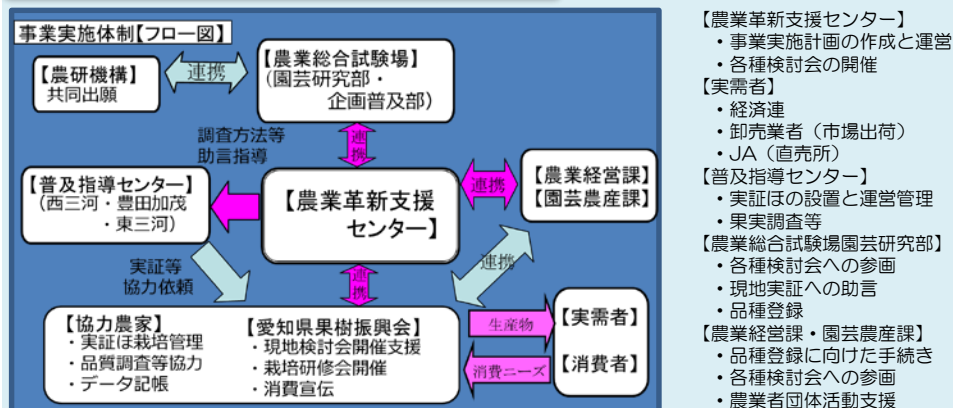
なく、収量性に優れている。



## 主な取組内容

- 県内主要産地(3普及指導センター、計8ほ場)における現地適応性の検討(設計検討会4月、現地検討会5月、6月、7月、9月、成績検討会12月)
- 「栽培マニュアル」及び「収穫用カラーチャート」策定に向けた栽培試験
- 「栽培マニュアル(暫定版)」及び「収穫用カラーチャート(案)」の策定(3月)
- 先進地現地事例調査(新潟県9月、島根県9月)
- 栽培技術研究会の開催(6月)
- 関係機関との意見交換会(4月、8月、9月)
- 実需者等を交えた県域意見交換会の開催(10月)
- 先進地事例調査・情報収集・関係者との意見交換会(2月)
- 推進方向検討会の開催(11月、3月)

## 実施体制図



## 課題と今後の対応

### 【実証結果】

- 「愛知梨3号」カラーチャート(案)の実用性評価  
CC値2から3で収穫することが適していると確認できた。
  - 植物成長調整剤が果実品質に及ぼす影響  
ジベレリンペースト処理をすることで果実重、横径、縦径が大きくなり、熟期が5から7日前進した。
  - 果実袋が果実品質に及ぼす影響  
二重袋遮光袋の被袋により、障害果の発生が回避された。
  - 一部のほ場で収穫期後半に生理落果が見られた。
- 【次年度への取組】
- 植物成長調整剤による落果防止効果を確認する。
  - 「瑞月」収穫用カラーチャートと栽培マニュアルを策定する。